

東北大会出場果たす

テニス中泊ジュニアクラブ

昨年11月28日(日)、むつ市の克雪ドームで第4回青森県ジュニアソフトテニス大会が開催され、中泊ジュニアソフトテニスクラブが4年生以下の部で男女とも優勝。オープンの部では、4チームが2月に仙台で開催される東北大会出場権を獲得しました。

■4年生以下男子の部

優勝 木村颯汰・木村吏玖

■4年生以下女子の部

優勝 珍田未来・岩田菜月

2位 木村真琳・中村 唯

■オープン男子の部

3位 田中大夢・中村亘希

5位 岩田大地・小山内敦士

5位 坂田拓陸・中村武蔵

■オープン女子の部

5位 古川紗矢香・野上凜音



中里中美術部がお手伝い

うさぎの絵馬づくり

ま
ち
の
話
題

町の神社の鳥居に奉納する絵馬。それぞれの地区で飾られています。中里中美術部の1年生8人が手伝って作っていました。この絵馬を作っているのは、大工の古川春喜さん(五林地区)で、12月22日(水)の午後、中央公民館で作りました。中学生が手伝っていたのは、古川さんがカッティングシートで作った型紙を木製の板に貼る

作業。空気を入れないよう注意しながら、へらを使っていいに貼り付けていきます。手伝った生徒たちは「いい経験だった。来年も挑戦してみたい」と意欲をのぞかせていました。指導した古川さんは「一緒に作ることで、神社の絵馬がこうのようにできあがることを知ってもらえたら。来年は10日ぐらいかけてゆつくり作りたい」と話していました。こうしてできあがった4枚の絵馬は、中里神明宮、今泉神明宮、荒神宮、五林神社にそれぞれ奉納されています。

中里 誠心塾

福島県の柔道大会で快挙



「小川道場は強かった」「次の試合までもっと強くなりたいたい」などさまざまな感想が、「次は優勝を目指す」と子どもたちは目を輝かせていました。子どもたちを指導した片山監督は「よく頑張った。小川道場と対戦できたのは、子どもたちにとっていい経験。柔道の基本である礼をきちんと教えながら、大事に子どもたちを育てていきたい」と、これからの抱負を語っていました。

柔道の中里誠心塾が1月9日(日)、福島県いわき市の南の森アリーナで行われた「第10回少年柔道練成交流会」に出場し、小学生1・2年団体で準優勝を果たしました。東日本から72団体233チーム参加の大会で、並み居る強豪を抑え予選トーナメントを勝ち上がった同塾。決勝リーグで小川道場(東京)に敗れるものの、2勝1敗の成績で堂々の準優勝を獲得しました。メンバーとして戦ったのは、野上莉来奈さん(薄市小2年)、片山雄心くん(武田小2年)、加藤主税くん(中里小2年)、佐井川陽舜くん(武田小2年)、葛西大悟くん(武田小2年)の5人。準優勝の感想を聞くと「うれしい」

広告

男女問わず「よさこい」に興味のある方は、ぜひ練習日にいらしてください。
*高校生でも保護者の協力(送迎など)があれば参加可能です。

■練習日
毎週水・金曜日
19時～20時30分

■場所
中央公民館ホール

■お問合せ 神まで
080-6022-9871

「夢幻天舞ブログ」で、練習の様子・今後の予定を公開中!
<http://blog.livedoor.jp/mugentenu/>

よさこい 夢幻天舞

メンバー募集!!

交通安全に尽力 横山さん緑十字金章受章



今年の年始は、交通事故のニュースなどがありませんでしたが、

そんな中うれしい知らせが飛び込んできました。交通指導隊を長く務めている

中里支部支隊長の横山市三郎さんが、交通事故防止などに尽くした功績で、交通安全栄誉章緑十字金章を受章しました。この金章は町では初めての受章で、五所川原地区交通安全協会管内でも3人目

食生活を通じた 活動で表彰

町食生活改善 推進員会

12月21日(火)、町食生活改善推進員会会長の佐藤ミユキさんが役場を訪れ、同会の県知事表彰受賞を報告しました。

今回受賞したのは県健康づくり事業功労者等表彰で、地域の健康づくりに貢献した団体や個人を表彰するというものです。

町の食生活改善推進員会は、減塩や野菜摂取の推進などを行い、長年にわたって食生活の改善を中心とした健康づくり活動を行ってきており、今回の受賞につながりました。

訪れた佐藤さんは「私一人ではなく、みんなでもらった表彰。



家を一軒一軒まわって味噌汁の塩分を計った活動が思い出深い。これからも町のためにがんばっていききたい」と受賞の感想を聞かせてくれました。

となる貴重なものです。中里駐在所所長と一緒に町長室を訪れた横山さんは、受章の喜びを町長に報告。交通指導隊38年と安全運転歴あわせて50年が認められての受章に「夢みたい。まさか受章するとは思っていなかった。今後は後進を育てながら、自分もがんばっていきたい」と語りました。

青森県歯科医師会が主催する「よい歯のシニアコンテスト」で、竹谷幸蔵さん(今泉地区、81歳)が、優良賞に輝きました。このコンテストは、80歳以上

80歳でも 健康な歯で 優良賞受賞

ではない。町の安全を守る横山さんの功績には頭が下がります」と感謝していました。

親子で楽しく凧づくり

中央公民館で津軽凧づくり教室

中央公民館で1月11日~12日の2日間にわたり、津軽凧づくり教室が行われました。

この教室は、古川敏夫さんを講師に迎え、凧絵を描いたり骨組みを組み立てて、津軽凧を一から作るという本格的なもの。2日間かけて作る教室には、町内から親子連れなどがたくさん集まり、凧づくりに挑戦していました。



古川さんが手ほどきしながら参加者が作っていききましたが、子どもたちは慣れない手つきながらも一生懸命作り、立派な津軽凧を完成させていました。



で自分の歯が20本以上ある人を認定・表彰しているもので、竹谷さんのほか県内の14人が表彰されました。

受賞した竹谷さんにいい歯を保ってきた秘訣を聞くと、「まずは歯磨きをすること。また、間食はあまりしない、固いものが好き、お茶をよく飲む」ということだそうです。

町の保健師によれば「よく噛んでたくさん唾液が出ることは、虫歯の予防になる。また、お茶には虫歯を予防する効果もあるといわれているので、竹谷さんの生活習慣が今回の受賞に結びついたのかもしれない」とのこと。

固いもの好きのことを奥さんは、「碎石場」のようと言いは、笑って話してくれました。

元日マラソン

恒例の元旦マラソンが1月1日(土)に行われ、約70人が参加しました。

年末年始は大荒れの天候が予想されましたが、ふたを開けてみると穏やかな晴れの天気。参加者にも自然と笑みがこぼれていました。スタート前に、町体育協



会の下山会長が「今年はいさぎ年。みんなで飛躍の年にしましょう」とあいさつ。午前9時、町長の号砲とともに、参加者は体育センターから津軽中里駅までの往復2キロのコースに向かっています。天候がいいこともあり、9時40分には全参加者がゴールテープを切り、初春のまちをさわやかに駆け抜けました。

新春の行事各地で

新春初笑市



1月3日(月)津軽鉄道津軽中里駅内で、東北新幹線全線開業を記念したイベント「新春初笑市」が行われました。

今年が初めての開催となるこのイベントでは、金多豆蔵人形劇の無料公演ほか、物産販売、新幹線輪投げ・ビンゴ、「けの汁」の振る舞いなど、多彩なメニューで来場者をもてなし。約250人が集まり、県外からの観光客も多く見られました。

中でも金多豆蔵人形劇は、午前・午後両方の公演が満席

となるにぎわいぶりで大変わらずの人気を見せつけ、また新幹線輪投げ・ビンゴは、野菜や漬物、新幹線ケーキなどが賞品とあつて、子どもから大人までたくさんの人がチャレンジ。会場は終始大盛り上がりでした。

また今回振る舞われたけの汁は、下前地区の味付けということで、普段とは違ったけの汁に多くの人が舌鼓を打っていました。

新年を祝う集い

新しく訪れた2011年を祝う集いが、町総合文化センター「パルナス」で行われ、約140人の参加者が新年の門出を祝いました。

今年はいさぎ年ということで、飛躍の年となるよう期待を込めて参加した人が多く、和やかな雰囲気の中でお互いに談笑していました。



どんと焼き



縁起物を焼き、無病息災などを祈る「どんと焼き」が、パルナス駐車場特設会場で行われ、門松やしめ縄飾りなどの縁起物が次々と持ち込まれました。

この日は雪模様でしたが、それほど風も強くなく無事行われ、弘法寺の三浦住職が祭司を務め、参加者が感謝と祈りを捧げていました。

火が入られ、炎が勢いよく上がると、参加者は巻き上がった煙を体にすりつけ、縁起を担いでいました。

静和園だより

感 謝 詞

・ベえ子ちゃんの会 会長 葛西美奈子
会員20人来園。入所者へお菓子を持参され、スコープ三味線、舞踊、健康ダンスなどを披露してくれました。



・中里三味線会&なにもささ保存会 会長 坂田久仁彦
会員15人来園。民謡、三味線、創作舞踊などを披露してくれました。



寄 贈

・アップル会(中泊町)お菓子
・中里地区婦人会雑巾



繭玉飾りで交流 薄市小もちつき会

古くから伝わる繭玉づくりで、学校・家庭・地域の交流を図ろうと1月15日(土)、薄市小でもちつき会が行われました。

同校PTA(会長 福士勝也)が主催して行われたもちつき会には、同校児童、保護者のほか、薄市保育所の年長児、内潟療養園、きりん館など、あわせて約160人が参加。もちつき会が始まると、炊きあげられたもちが体育館に次々と持ち込まれ、お父さんと児童が臼と杵でつく昔ながらのもちつきを始めました。



繭玉用の食紅が入った色つきのもちも次々とできあがり、高学年の女子児童たちがそれを丸め、繭玉ができあがり。繭玉はその名のとおり、養蚕の盛んな

国保から

シリーズ 高齢者ボランティア

② 武田地区

今回は、武田地区での活動です。

武田公民館で行われている新聞紙を使ったエコバッグづくりには、毎回20人を超えるボランティアが参加。みんなで和気あいあいと作っています。



会員の石川美穂さんは「在宅保健師の中村法子さんを交え、転ばないための体操やボケない替え歌などを歌ったり、紙バッグづくりなど、毎回楽しくにぎやかに開催しています。地域の高齢者の人から学ぶものがたくさんあって、まさに人生の先輩です。会員の私



たちが知恵と勇気をいただいています」と、活動を楽しみながら学んでいる様子がうかがえました。

地震ハザードマップを作りました

(この広報と一緒に配布しています)

【環境整備課建築係 内線239】

「地震ハザードマップ」は、地震が発生した際に予想される被害や避難方法を説明したものです。

マップには、

- 避難場所 ●地震発生時の注意点
 - 地震発生時の被害予測 ●緊急連絡先
- などが書かれています。

また、お住まいの地域の揺れやすさを表した「揺れやすさマップ」、建物の倒壊の危険度を表した「地域の危険度マップ」など、役に立つ情報も載せられています。

家族の中で防災意識を高めるためにも、このマップを一度ご覧になり、万一のときにすぐ出せるよう、家族みんなが分かる場所に保管してください。

地域に伝わる伝統的な風習ですが、薄市地区では豊作や幸福を願って行われた行事のようでも、保存食としても活用されたものだと思います。子どもたちは、ミ

ズキの木に色鮮やかなもちを付けていきました。最後はみんなでもちを食べ、さまざまなお交流が図られた1日でした。